

## 2010 年度 小委員会活動成果報告

(2011 年 1 月 25 日作成)

小委員会名	発注者問題小委員会		主 査 名：古阪秀三 就任年月：2009 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会		委員長名：森本信明 主 査 名：
設 置 期 間	2009 年 4 月 ～ 2012 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	発注者の役割特別研究委員会において明らかになった建築プロジェクトにおける発注者の実態を受けて、次の 3 点に的を絞って活動する。 1. 今日の建築生産システムにおける発注者の役割の明確化 2. 大学等教育機関における発注者教育の検討 3. 発注者を評価する(褒める)仕組みの構築		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし		
	安藤正雄(千葉大), 高田光雄(京都大), 平野吉信(広島大), 賀来高志(野村不動産), 片田和範(森ビル), 南一誠(芝浦工業大学), 川元茂(国土交通省), 吉田弘(国土交通省), 楠山登喜雄(フタバエンジニアリング), 斎藤隆司(日本郵政), 小野田泰明(東北大), 藤井晴行(東京工業大), 齋藤広子(明海大), 高井宏之(三重大), 古阪秀三(京都大)		
設置 WG (WG 名: 目的)	なし		
2010 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス：なし	

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 計画: 建築生産プロジェクトの好ましさを測る観点, とステークホルダー(発注者, 設計者, 施工者ほか), プロジェクト・フェーズとの関係を表わす評価マトリクスを作成し, 報償システムとの連携を測る. 成果: ほぼ完成し, 優良事例, 問題事例の評価によるマトリクスの検証を行っている. 2. 計画: 「好ましいプロジェクト」の報償システムの実現方策を検討する. 評価マトリクスを好ましいプロジェクトのあり方を発想するツールとする方法を検討する. 成果: ほぼ完成し, 優良事例, 問題事例の評価を通じて検討中である. 3. 計画: 中間成果を報告する研究集会を開催する. 成果: 来年度実施に向けて準備中である.
委員会活動の問題点・課題	1. できるだけ分野, 地理的に広く委員を募ったため, 旅費の自己負担が大きい 2. 非専門的発注者(一般居住者, 一般企業)の見解を把握しにくい.

\*小委員会活動成果報告書は本書式を基本とする。ただし、それぞれの本委員会において活動実績を報告する共通項目があれば、最下段に項目を追加して記述してもよい。